

2006/7/1

武笠 佐々木 浅井  
木元 川瀬 中村

# ネットワークをつくらう !!

ネットワークの限界  
ネットワークの境界

## 現実

- ・事務局機能を誰が
- ・取りまとめていくことの事務局機能は必要か
- ・意見・思考の相反
- ・ネットワークのための労力は誰が
- ・地例会は必要か
- ・情報交換・共有の手段は

団体と団体の大きさの違い  
団体と個人の共存

協議会 ~ 連合会

## 課題

- ・情報量 助け合い 役割分担
- ・維持するための経費は
- ・費用分担のふりわけ
- ・団体員の総意 ネットワークへ参加
- ・参加する団体の自立性

何か形のある  
成果が欲しい

多種類のネットワーク  
ネットワークとネットワーク  
のつながり

## もっとうまくいく

- ・情報収集能力
- ・情報量 情報共有
- ・出入り自由
- ・そのための広報活動

プロセスの  
共有

## プロジェクト型

- ・時限性があってもいい
- ・テーマ別だったら全市的な広がりが欲しい
- ・ネットワークの目的を具体化する

ゆるやかな連携

\*表示方

## きっかけ

- ・助け合い
- ・それぞれの足らざる部分を補完しあう
- ・相談したりしあったり
- ・協力 人脈 仲間 集まり 知恵 共有
- ・組織or個人をより強くする
- ・活動へのヒントを得る

## 目的

- ・目的or趣旨を同じくする
- ・共通点を見出す
- ・目的が必要
- ・共通の目的設定
- ・問題点の共有

課題解決

問題提起

## 手を組む相手

- ・テーマ別か分野別か
- ・イベント型 常設型
- ・地域別 課題or問題別
- ・テーマ別 プロジェクト別
- ・地域別